

市民主導の 戌立(いんだて)・寺ノ浦(てらのうら)石器時代住居跡 保存会の活動紹介

日時:令和6年1月20日(土) 午後1時30分~3時

場所:長野県東御市中央公民館 2階講義室

主催:とうみ歴史研究会 地域の歴史講座

参加費:500円

申込:電話 090-4060-0287(担当田中)に。

当日まで受け付けています。

地元でも忘れ去られていた戌立遺跡(東御市)と寺ノ浦遺跡(小諸市)を、戌立遺跡のある地域の住民たちが、自ら立ち上がり自分たちの手で遺跡を護り、多くの人たちに遺跡の素晴らしさと大切さを知ってもらおうと活動中。

地域貢献として、地元滋野(しげの)小学校の郷土資料室の資料館整備や、「とうみ縄文祭(じょうもんさい)」を企画実行している。

そんなボトムアップで進める市民主導の保存会の活動紹介を通じ、教育委員会が主導するトップダウンとの違いを考える。



春の戌立遺跡 2023

ここで、令和5年4月 第1回縄文祭が市民主導で開催されました。

〈遺跡の基礎情報〉

- ・長野県埋蔵文化財で初めて国史蹟に指定された戌立遺跡と寺ノ浦遺跡
- ・昭和5年発掘調査 昭和8年国史蹟指定
- ・長野県で初めて縄文時代の敷石住居跡が検出されたことで国の指定になった。これは中部地方で初めての敷石住居発見で日本考古学史に残る重要遺跡である。